釧路市のプラス成長をめざす　釧路市都市経営戦略プラン

人、モノ、金、情報の効率的、効果的な投　資

↓

都市経営

経 緯

「釧路市都市経営戦略会議」（釧公大地域経済研究センターとの共同研究）からの提言を受け、**「都市経営」**に着手。

推 進 方 法

釧路市の**プラス成長**をめざし、**市役所改革プラン**と**財政健全化推進プラン**を推進し市役所の基盤を固め、これと同時に重点投資の方針を示す**政策プラン**を策定します。

民間と行政が一体となって、進めていきます。

課題①

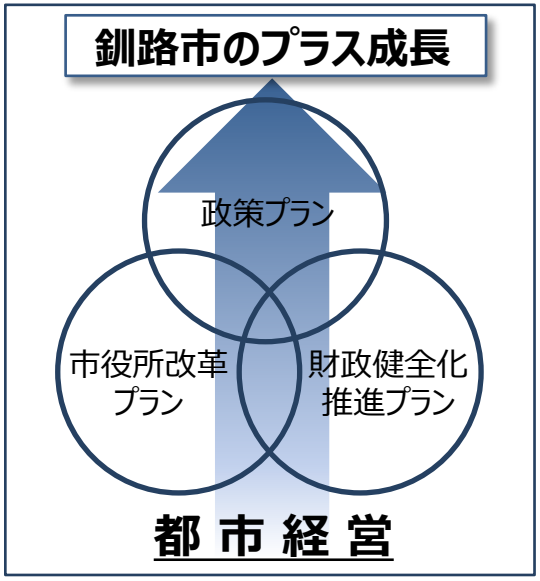
長年の市政最大の課題であった第三セクターの借金を市の責任において長期的に解消しなければならない

課題②

釧路市にある大切な資源を、経済・社会情勢の変化に合わせて、効果的、効率的に投資できる市役所の体制を作らなければならない

課題③

地域が持続的に発展するために、釧路市のプラス成長を経営の理念と政策展開の方向性で示さなければならない



第三セクター等改革推進債の活用による財政の健全化

～財政健全化推進プラン

効果① 財政再生団体転落リスクの回避

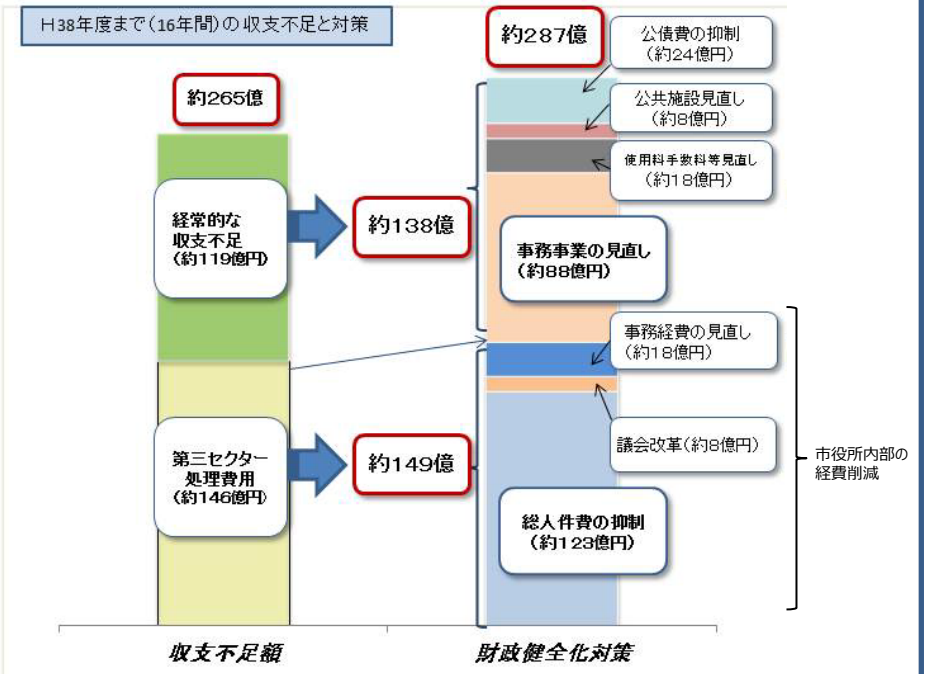
131億円にも膨れ上がった釧路市土地開発公社及び釧路振興公社の借金。この借金には、両公社が返済できない状況になった場合、釧路市がその肩代わりをするという補償契約をつけていました。

公社が解散になれば、釧路市がこの借金を返済することとなり、一度に大きな赤字を抱え、国の管理下に置かれる財政再生団体へ転落する可能性がありました。

しかし、両公社の改革は先送りできない課題であったため、公社の借金を市が計画的に処理できるという第三セクター等改革推進債（国の制度に基づく借入金）を活用し、公社の整理に着手することにしました。

これにより、多額の借金を計画的に返済することができるようになり、財政再生団体に転落するリスクは回避されたわけです。

「釧路市財政健全化推進プラン」の仕組み



効果② 借入金支払利息の軽減

釧路市土地開発公社及び釧路振興公社の借金を釧路市が第三セクター等改革推進債を借り入れて、平成38年度まで返済していくことにしました。借入額の抑制と低い利率での借入れに努めたため、「財政健全化推進プラン」策定時とくらべ、元利あわせて約14億3千万円を圧縮することができました。

【用語説明】

第三セクター等改革推進債…第三セクターなどの抜本的な改革に必要な経費に充てることができる特別な借金

財政再生団体…国が示す財政指標の基準を1つでも超えた場合、自主的に健全化は不可能と判断され、国の管理下に置かれた地方自治体のこと。

財政健全化推進プラン ～財政基盤を整える
（平成22年度策定済）

**いま課題を明らかにし、
抜本的な改革を行わなければ、
釧路市の未来はない**

目 的

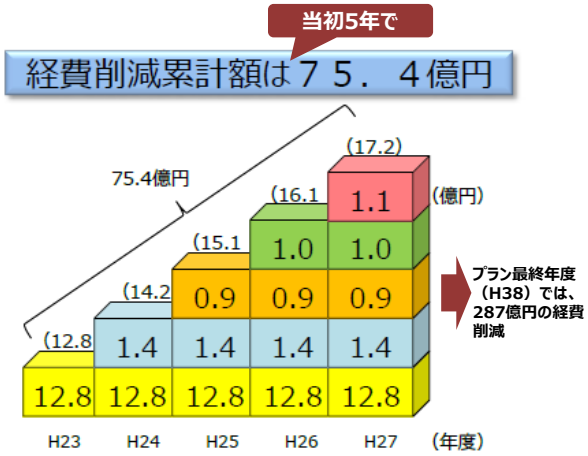
- 釧路市土地開発公社及び(株)釧路振興公社の**解散・清算のため三セク債償還**財源の確保
- 釧路市財政の**経常的な収支不足**の解消

● 健全化の６つの柱 ●

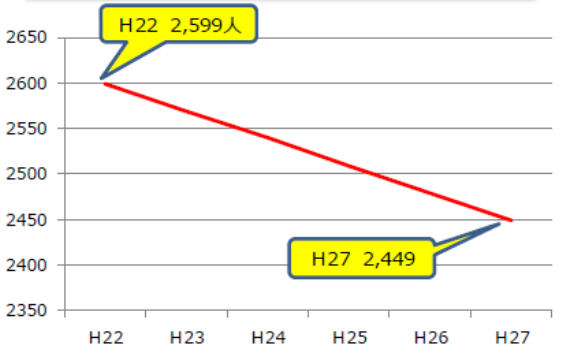
1. 事業を見直します
2. 使用料・手数料を見直します
3. 公共施設を見直します
4. 借金返済額を減らします
5. 議会改革で効果を出します
6. 人件費を減らします

累積収支不足額
約265億円
の解消が目標

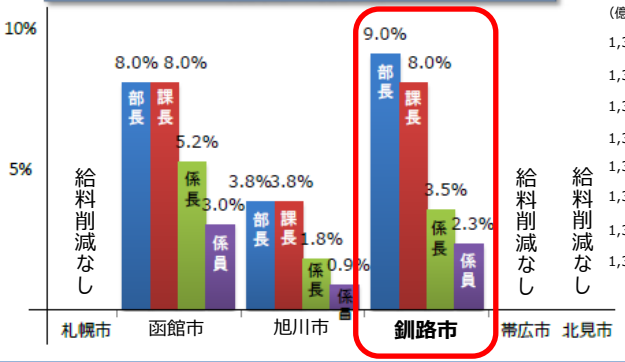
経費削減累計額は７５．４億円



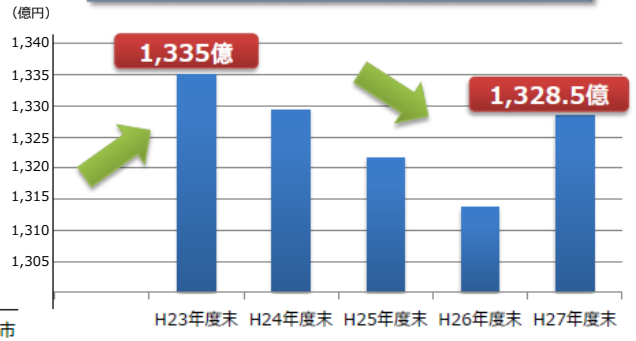
職員数を１５０人削減



給料の削減



市債残高を６．５億円削減



市役所改革プラン

～市役所を変える
（平成23年度策定済）

○ 市役所改革６つの柱 ○

1. 市の仕事をわかりやすく伝えます
2. 市長をサポートする組織を作ります
3. しっかり考える職員を育てます
4. 市の仕事の成果をしっかり測ります
5. 建物などの市の財産を有効に活かします
6. 市民の皆さんと一緒に考え、行動します

取組中① 公有資産マネジメントの取組

市役所が保有している施設を一元管理し、効率的な施設の活用を検討するための仕組みを作っています。

現在の施設維持管理費は約60億円！

＜平成24年度＞
マネジメントシステムの導入
・公共施設の調査
・公共施設データの一元化
・約500施設の客観的評価・公表

取組中② 債権管理マネジメントの取組

市税や国保料、保育料など市役所全体には多くの債権があります。この債権に対する未収金が多いことが釧路市の課題です。

これまで以上に未収金の回収ができるよう、**「未収金対策マニュアル」と「債権管理条例」を策定**することとしました。

※債権管理条例は、平成25年度の施行を目指しています。

取組中③ 予算要求に元気創造枠を新設

平成24年度予算から、新たに「元気創造枠」という要求枠を設け、職員からテーマに沿った事業提案の募集をしました。**職員の自主性と政策形成能力の向上も目的の一つ**です。

テーマ：「域内循環」と「雇用・人材育成」
事業化：ペレット生産支援事業
域内循環推進啓発認定事業
生活困窮者の居場所づくり・雇用創出事業
ほか10事業

市長前でのプレゼンも！

※上記３つの取り組み以外にも、各課の自主性のもと様々な市役所改革に取り組んでいます。

政策プラン

～重点投資施策を明らかにする
（平成24年度策定予定）

「選択と集中」の考え方

釧路市の特性を最大限に生かしながら、地域が抱える課題に対応する「政策プラン」を策定します。

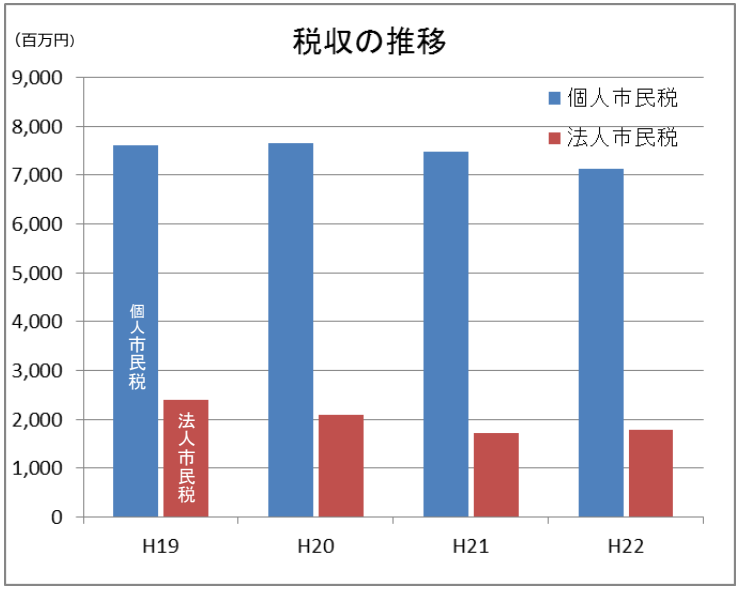
○ 重点投資4つのビジョン ○

❶ 地域資源の価値を高め域内循環させる地域経済

・地産地消、ブランド化の取組の発展・継承
・東北海道全体で生産、消費活動を高める取り組みの推進
・国内外の地域との交流を深め、「外から稼ぐ力」の醸成
　→釧路湿原国立公園・阿寒国立公園などを活用した観光事業の推進
　→冷涼な気候を生かした移住長期滞在、MICEの取組の発展・継承　など

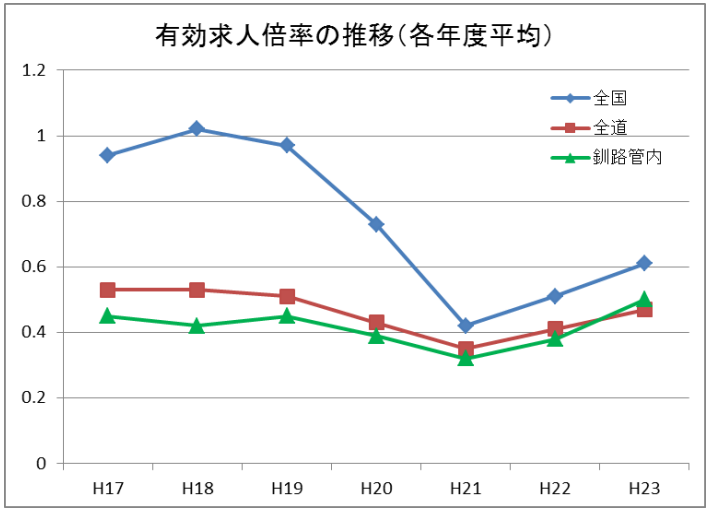
❷ 地域を担う人材の雇用と育成

・釧路市の雇用の現況調査と分析
・雇用確保に貢献している企業等との協働の仕組みの構築
・ライフステージとライフスタイルに合った雇用の場の確保
・若年者の学力向上、働く意識の醸成　など



❸ みんなが安心して暮らせる都市づくり

・大災害時における市役所の業務継続体制の確立
・災害時の様々な課題に対応した安心のまちづくり
・災害時の地域産業の事業継続に寄与する体制の整備
・災害時の事業継続に向けた地域の連携の強化　など

❹ 世界に開き東北海道をつなぐ戦略的拠点都市

・釧路港を活用した国内の食料供給基地機能の形成
・高速交通ネットワークを活用した物流、人流の活性化
・航空路線網の拡充と就航機材の大型化
・圏域住民が必要とする生活機能の確保と安心して暮らせる地域の形成　など